

東日本手外科研究会ニュース

Newsletter of Eastern Japan Society for Surgery of the Hand

平成23年7月31日号

July 31, 2011

●●●第26回東日本手外科研究会開催にあたって

このたびの東日本大震災で、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表し、また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

当地方は現在、内陸地域では平穏を取り戻しているものの、沿岸地域ではなかなか復興が進まず、多くの方々がつらい生活を強いられているのが現状です。これに対し、日本中、あるいは世界中から様々な形で多大な御支援を賜り、それが復興の力となっております。被災地に住むものとして、真にありがたく、感謝している次第です。心から御礼申し上げます。

このたび、第26回東日本手外科研究会を2012年3月3日(土)に、盛岡市(ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング)で、岩手医大整形外科 嶋村 正 教授の支援の下、開催させていただきますことを大変光栄に存じております。当科で本研究会を開催させていただくのは、「第7回東日本手の外科研究会」を阿部正隆 名誉教授が担当されて以来、19年ぶりとなります。

招待講演として Mayo Clinic の Dr. Peter C Amadio に、"Tissue Engineering to Improve Tendon Function" のご講演をお願いしております。先生は腱の先端的研究をされており、ご参会の皆様のご参考になればと考えております。さらにランチョンセミナーでもDr. Amadioには "Carpal Tunnel Syndrome: New Ideas on Diagnosis and Etiology"をお願いする予定です。ご存知のとおり先生は手根管症候群の先端的研究でも広く知られており、先生方のお役に立てればと考えております。

シンポジウムとして東日本大震災に関連した話題を考えております。震災時に手外科医にはどのような役割があったのかを検証できればと考えています。主題は、本研究会の特色である「新しい試み」に加え、「絞扼性神経障害」、「母指CM関節症」、「橈骨遠位端骨折」を考えております。多数の演題のご応募をお願い申し上げます。もちろん症例報告も大歓迎です。ランチョンセミナーはDr. Amadio に加え併せて2~3題を予定しております。

特に若い医師向けの新しい企画を考えるようにとのお話をいただいており、「エコーガイド下腕神経叢ブロック」、「若い医師のためのmicrosurgery」等のハンズオンセッションを行うべく講師候補の先生方と日程・時間の調整をしている所です。多数の若手の先生方のご出席をお願い申し上げます。

3月初めの盛岡はまだまだ寒さが厳しい時期ですので、冬の装いでご参会下さい。三陸の漁が復興していれば良いのですが、盛岡3大麺(冷麺、じゃじゃ麺、わんこそば)は健在です。是非味わって下さい。また近郊には多くのスキー場、温泉がありますので、ご家族連れで岩手の冬を楽しんでいただけましたら幸いです。ご参会を心からお待ちしております。

第26回東日本手外科研究会

会長 西 田 淳

●●● 第27回東日本手外科研究会

第27回東日本手外科研究会を平成25年2月東京で開催させていただくことになり光栄に存じます。ご挨拶に際し、まずこの度の東日本大震災で被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、厳しい環境下で診療に当たられています先生方に心から敬意を表したいと思っております。

本研究会は第1回を山内裕雄会長のもと、私の出身であります順天堂大学で担当させていただきました。以来、設立の主旨であります誰もが発表でき、活発な討論ができる「研究会の良さ」を守ってまいりました。第27回研究会もこの良さを継続し、主題には「新しい試み」や本当は良くない「成績不良例の報告」など、本音で語る研究会を目指し、準備をしております。労災病院の勤務も13年となり、大学病院の整形外科とはちょっと違った色が出せるよう、あれこれ思案中です。楽しく充実した研究会ができますように私ども手外科グループも頑張っております。よろしくご参加の程、お願い申し上げます

第27回東日本手外科研究会
会長 楠 瀬 浩 一

●●● 運営委員会から

以下に、平成23年2月24日に開催されました運営委員会の議事を中心に記載いたします。

1. 第25回東日本手外科研究会 平成23年2月25日、第25回東日本手外科研究会が、瀧川宗一郎会長(昭和大学豊ス病院整形外科)の主催のもと、東京ステーションコンファレンスで開催され、盛会裡に無事終了いたしました。
2. 会員動向 新入会員は69名で、現会員数は613名となりました。
3. 研究会名称の変更 正式に“東日本手外科研究会”とすることが認められ、会則を変更いたしました。
4. 会長・次期会長の承認 会長に西田が、次期会長に楠瀬浩一先生(東京労災病院整形外科)が承認されました。また、次々期会長として長岡正宏先生(日本大学医学部附属駿河台病院整形外科)が選出されました。
5. 運営委員 任期が終了した岡 義範、落合直之両監事に代わり藤 哲、別府諸兄両運営員が新監事に選任されました。次いで任期が終了した委員15名(池上博泰、石突正文、岩崎倫政、荻野利彦、佐々木孝、澤泉卓哉、柴田 実、千馬誠悦、瀧川宗一郎、長岡正宏、西田 淳、根本孝一、三上容司、水谷一裕、山本謙吾)の再任および岡 義範、落合直之両監事の復帰が承認され再任されました。また新運営委員として、浦部忠久、長田伝重、笹 益雄、高原政利の4名の先生方が選出されました。
6. その他 事務局については引き続き有限会社ヒズ・ブレインに依頼することが確認されました。

(西田 淳)

●●● 東日本手外科研究会事務局

〒468-0063 名古屋市天白区音聞山1013 有限会社ヒズ・ブレイン内

TEL 052-836-3511 FAX 052-836-3510 E-mail ejhand@jssh.gr.jp

URL <http://www.jssh.gr.jp/ejhand/>